



かまくら ふぁみさぽ通信

〈発行元〉鎌倉市ファミリーサポートセンター



大切なお知らせ



【鎌倉市ファミリーサポートセンター謝礼額の変更】

現在、支援活動の謝礼は、1時間あたり700円です。(月曜日～金曜日 7時～19時)平成14年にファミリーサポートセンターの事業が開始された当初から20年余り、謝礼額は変わっていません。この額はあくまでも相互援助活動の謝礼ですが、神奈川県 lowest賃金が上昇していること、令和2年に実施した会員アンケートでの謝礼に対する皆様のご意見など踏まえて、**令和5年10月1日より当該謝礼額を700円から800円に変更します。**

なお、平日の7時から19時まで以外の時間、土曜日、日曜日、祝日及び12月28日から翌年1月3日までの謝礼額については、これまで通り1時間あたり900円です。

【鎌倉市在宅子育て家庭支援事業利用料助成額の変更】

ファミリーサポートセンターの育児支援又は家事支援を利用した人のうち、在宅で子育てしている家庭などに、利用料の一部を市が助成しています。謝礼が800円になることに伴い、令和5年10月1日より1時間あたりの助成上限額を350円から400円に変更します。

【遠距離支援費の変更】

支援会員が自宅を出てお子さんに会うまで又はお子さんと別れてから自宅に帰るのに30分以上かかった場合は、別途遠距離支援費が発生しますが、350円から400円に変更します。

依頼会員・両方会員の皆さまにはご負担をおかけしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。



移動サービス専用自動車保険の加入に向けて



保育園や学童、習い事の送迎などの支援は、徒歩または公共の交通機関の利用をお願いしていますが、離れた場所への送迎などで支援会員さんの車を使う場合もあります。自家用車を用いた支援で事故が起きた際には、支援会員さんご自身が加入されている保険で対応して頂くようお願いしています。今まで自家用車での支援中の事故はありませんが、支援会員さんが安心して支援できるよう、ご自身で加入している保険に優先して対応する保険の今年度中の加入(10月1日予定)を目指して準備を進めています。

車で送迎支援をする際には、事前の**車両登録**と**車検証**、**任意の自動車保険の確認**をさせていただきます。支援後には、LINEの車支援報告から支援日時など入力をお願いします。

お子さんが自分でシートベルトを外したり、窓から手を出したり、ドアを開けたりしないよう、依頼会員さんも日頃からお子さんと車中のマナーについて話し合っておきましょう。

もしも

に備えて



もしも支援中に地震が起きたら、どのように行動しますか？
安全な支援のために、日頃から会員さん同士で話し合っておきましょう。

●送迎中に地震が起きたら…

戻るべきか、送り届けるべきか迷うかもしれません。**避難場所**についても、日頃から話し合っておきましょう。
避難する際、エレベーターには乗らないでください。動いていたとしても閉じ込められる危険性があります。

●家で見守りの時に地震が起きたら…

本やクッションなど身近なもので**頭を守りましょう**。窓や照明などのガラスにも注意してください。
安全を確認してから、保護者へ連絡してください。

●乳幼児の預かり・見守り中は**抱っこ紐**を備えましょう。いざ避難、という時にしっかり抱っこ出来ます。



いざという時にどのように行動するのが良いか、
ハザードマップ等を利用して確認しましょう。

鎌倉市津波ハザードマップ



暑さ

に備えて

これからの季節は特にご注意を！

扇風機やサーキュレーター
に指を入れないように
気を付けましょう。



熱中症対策を！

室内でもこまめに
水分を取りましょう。
大人も水分補給を
忘れずに。



子どもは水深5cmで
溺れてしまう事も
あります。
支援中にプールや海
などでの**水遊び**は
やめましょう。



炎天下では、
短い時間でも
車内に置き去り
にしないで
ください。



安全

対策

●幼児は何でも口にいれようとしてします。**誤飲防止**
の為、**小さい物やタバコ・電池等**キケンな物を
手の届くところに置かないようにしましょう。
小さめのおもちゃの数も、確認しておきましょう。



●**お風呂の残り湯**がある場合は、浴室のドアを
ロックする等お子さんが入れないように
しましょう。

●窓の**近くやベランダ**に、足場になるような
ものを置かないようにしましょう。
ソファや椅子からの**転落**も要注意です。



●蹴上の板(階段1段の高さの部分)がない**階段**は子
どもの頭がすり抜ける高さです。子どもが
のぞき込んだりしないよう注意しましょう。



●**お昼寝中**、近くに**コード類**(スマホの充電ケー
ブル等)はありませんか？**首に巻きつく危険**が
あります。

子どもは日々成長します。
成長に合わせてこまめに**安全対策**
を見直しましょう。





令和 5 年 3 月 25 日 (土) 玉縄青少年会館

講師：津久井由起子さん (たまなわジュニアアーツ・おとなのアートカフェ主宰)

手に絵の具で自由に描き、手形をとって 1 枚の作品を作りました。手形を紙にとる時は、前もって紙に筆で水を塗り湿らせておくのがポイント！きれいに手形がとれました。台紙に張ったあとに絵や線を描き加え、フレームに入れたら 素敵な作品の完成です。

お子さん達は普段家ではできない「手のひらに絵の具を塗る」ことをおおいに楽しんでいました。みんな集中して描いていました。(もちろん大人も楽しみました。)

完成後には鑑賞会をしました。「色を作るのが上手」「たくさんの色や線があって面白い」など他のお友達の作品を見て思ったことや、いいなと感じたところを話しました。作る工程は一緒でも、それぞれ個性豊かな作品が揃いました。是非おうちで飾ってくださいね！

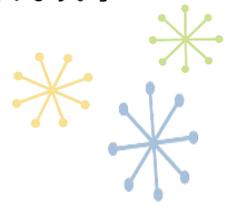


令和 5 年 3 月 7 日 (木) オンライン講習

講師：鈴木祐子さん (公認心理師)

妊娠、出産、子育てに苦しむ母親の多くが「心の問題」を抱えています。心や身体の安心、安全の感覚は乳幼児期の親子関係の中で育まれる「愛着」が基礎となり、「愛着の問題」は世代間伝達します。愛着のトラウマを抱えたまま母親になると、子育てを通して無意識に乳幼児期の記憶を思い出してしまいます。子どもの泣き声にイライラしたり、辛くてパニックになるのは神経生物学的な防衛反応で正しい反応 だそうです。この連鎖を断つには自分の中のいろんな自分(イライラする・よくよする・優しい・明るいなど)をそれで良いと認めること。

心の問題を抱えたママを「認める」「尊重する」「寄り添う」ことが大切だと学びました。



公式 LINE でチャットが出来るようになりました！！

今まではセンターからのお知らせのみの一方通行でしたが、メールのように会員の皆さまと

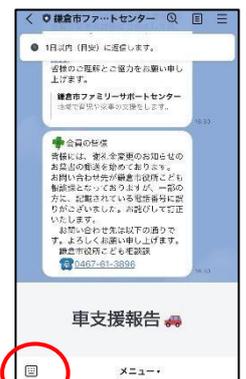
センターと 1 対 1 で LINE のチャットが可能になりました。依頼報告やお問い合わせの際

には会員番号とお名前 を入れてください。依頼の際の、支援会員、依頼会員 双方のご紹介はこれまで通り、電話になります。センターの開所時間内に

お返事をしますが、すぐお返事できない場合もありますので、お急ぎの場合はお電話ください。



LINE 公式
アカウント
QR コード



ここをタップして入力してください



INFORMATION

●令和5年度 支援会員登録講習会●

◆第77回◆

令和5年10月5日(木) 11日(水) 17日(火) 24日(火)
時 間：9:30~12:20 (11日のみ14:20まで)
場 所：鎌倉児童ホーム

◆第78回◆

令和6年2月6日(火) 14日(水) 22日(木) 29日(木)
時 間：9:30~12:20 (14日のみ14:20まで)
場 所：玉縄学習センター分室
内 容：子育て支援に関する各種講義
託 児：1才以上(コロナの感染状況によって、託児が中止
になる可能性もあります)

●令和5年度 支援会員スキルアップ講習会●



産後支援講習会

日にち：令和5年10月21日(土)
時 間：14:00~16:00
場 所：たまなわ交流センター2F 第3集会室
対 象：支援・両方会員
定 員：15名



乳幼児救命講習会

日にち：令和5年11月17日(金)
時 間：9:00~12:00
場 所：鎌倉児童ホーム
対 象：全会員
定 員：30名



新しいアドバイザーが2名加わりました！

はじめまして、**吉原睦**です。

高校2年生と小学6年生の2男がおり、
現役子育て中の母です。ご依頼ひとつひとつに丁寧に向き合い、依頼会員さんと支援会員さんの良い繋ぎ役となれるよう、日々努めていきたいと思
います。どうぞよろしくお願いいたします。



はじめまして。**佐野信子**と申します。

中2男子の母です。子どもがまだ小さかった頃、
ちょっとした時間でも子守りをしてくれる方の存在がどんなにありがたかったことか。まわりの
方々に随分助けられました。
その時の御恩を今度は返していけるよう、よい出
会いのお手伝いできればと思っています。
どうぞよろしくお願いいたします。

● センターからのお願い ●

令和5年5月8日に新型コロナの感染症法上の位置づけが5類に移行し、これに伴い外出の制限や、患者登録、健康観察などがなくなりました。マスクの着用も、3月13日から個人の判断が基本となっています。マスク着用については、支援会員、依頼会員双方で相談して決めてください。

基本的な感染対策(手洗いうがい、換気など)は引き続きお願いするとともに、体調がすぐれない時は無理をせず活動していただくようお願いいたします。



《問い合わせ・連絡先》

鎌倉市ファミリーサポートセンター

〒247-0071 鎌倉市玉縄1-2-1 玉縄青少年会館1階
TEL: 0467-43-5401 ・ 0467-42-7415
E-mail: famisapo@pluto.plala.or.jp
HP: <http://business3.plala.or.jp/kfsc/>

※毎月最終月曜日は休館日です



HP

鎌倉市ファミリーサポートセンターは、鎌倉市こどもみらい部こども相談課から委託事業を受けた「NPO法人 ふぁみりい」が運営しています。

